

様式3) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
A	<p>全体評価</p> <p>S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。</p>
評価理由	<p>当プラットフォーム（「ひょうご産官学連携協議会」以下、「当協議会」という。）では、2019年4月より当協議会のメンバーで大学のプラットフォームである一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、「当コンソ」という。）に1短期大学・2賛助会員企業が加盟し（加盟校は40大学等となり、県下56大学等の内71%が加盟となった）、体制が強化された。</p> <p>当協議会では、中長期計画において10課題を設定し、課題を解決するために16の取組を計画・実施している。2019年9月末日現在までの実施状況について、S評価：3取組、A評価：11取組、B評価：1取組、D評価：1取組と評価した。全体としては5年間の中長期計画の3年目として課題解決に向けて着実に実行しており、目標に対し十分な成果が見込めるとの判断でA評価とした。</p> <p>なお、S評価の取組については数値目標の達成状況だけでなくプログラムの内容や参加学生の取り組み状況など、質的な面を高く評価したものである。A評価の取組については達成目標の実現に向けて更なる充実を図る。B評価の取組についてもプログラム内容は評価しており、数値目標の達成に向けて広報手段等の改善に努める。D評価の取組については主催大学以外の大学の学生が参加するには日程及び内容的に難しい面があり、当プラットフォームの取組として設定するにはやや適当ではない面があるため、計画から削除して他のプログラムに重点を置いて課題の解決に努めることを検討する。</p> <p>各取組について、当協議会の評価及び改善の手順に則り、次年度に向けて適宜見直しを行うとともに、各課題の解決のため、地域の自治体（兵庫県）との連携強化を図るとともに、当コンソの賛助会員の増加を含め地域の産業界との更なる連携強化に努める。</p>
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	<p>当協議会では、各取組を当コンソの各事業委員会にて分担して実施しているため、課題の解決に向けて各事業委員会が情報共有し、連携を密にして進めることが重要である。このことを踏まえ、現在の中長期計画が終了する2021年度以降の計画及び実施体制について、当コンソの理事会を中心に検討を開始している。</p>

様式4) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入)																																																		
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考																																													
1. 地域の活性化、県内の若者人口増加のための連携事業																																																		
①地域の活性化のための県内企業就職率の向上	県内企業就職率： 33.0% (2021年度)	<p>(取組1) 若者の地元定着のための就職支援事業 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約2万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を促進することで、地域の活性化を実現する。</p> <p>○大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業とキャリアセンターとの意見交換会 ・魅力ある県内中小企業訪問 <p>○大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業と学生との意見交換会 <p>[平成28年・年齢別転入・転出数 (兵庫県)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>0～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入</td> <td>85,933</td> <td>9,050</td> <td>5,753</td> <td>30,082</td> <td>19,314</td> <td>10,204</td> <td>5,182</td> <td>6,348</td> </tr> <tr> <td>転出</td> <td>92,693</td> <td>8,457</td> <td>5,924</td> <td>35,825</td> <td>20,268</td> <td>10,451</td> <td>5,218</td> <td>6,550</td> </tr> <tr> <td>転出超過</td> <td>6,760</td> <td>△593</td> <td>171</td> <td>5,743</td> <td>954</td> <td>247</td> <td>36</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>027転出超過)</td> <td>7,409</td> <td>△196</td> <td>△164</td> <td>5,518</td> <td>1,399</td> <td>574</td> <td>30</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(平成29年1月)</p>	区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348	転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550	転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202	027転出超過)	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249	<p>各取組への参加学生数： 2017年度実績をベースに毎年5%増</p> <p>※2017年度 実績：562名 2019年度活動指標：621名</p>	<p>※県内企業就職率の2018年度実績：28.4%</p> <p>県内企業就職率の向上のため、第一段階の取り組みとして、当協議会加盟校教職員及び学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組みを、以下の通り実施した。</p> <p>■実施プログラム</p> <p>2018年度参加者数：1,176名 参加学生数：902名</p> <p>2019年度参加者数：255名 参加学生数：235名 (2019年9月末現在)</p> <p>[キャリアセンター対象]</p> <p>●意見交換会</p> <p>①「企業×大学意見交換会」 2019/2/16 参加学生数：4校18名 参加教職員数：13校18名 参加企業数：16社23名 行政・経済団体：3団体3名</p> <p>●中小企業訪問バスツアー</p> <p>①県内の隠れた名企業発見ツアー-AWAJI 2018/12/13 訪問企業：プライミクス(株) 淡路麺業(株) 参加学生数：5校18名 参加教職員数：5校10名</p> <p>②県内の隠れた名企業発見 KOBES 食バスツアー 2019/1/28 訪問企業：エム・シーシー(株) (株)新保哲也アトリエ 参加学生数：7校30名 参加教職員数：4校10名</p> <p>③LET'S GO TO TAJIMA! 2019/9/17 訪問企業：(株)由利 (株)東豊精工 参加学生数：5校62名</p>	A
区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～																																										
転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348																																										
転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550																																										
転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202																																										
027転出超過)	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249																																										

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

				<p>参加行政・団体数：2 団体 2 名</p> <p>④兵庫県内企業魅力発見バスツアー 2019/9/19 訪問企業：(株) センコー (株) ロック・フィールド 参加学生数：6 校 39 名 参加教職員数：5 校 14 名 参加行政・団体数：1 団体 1 名</p> <p>●合同企業説明会</p> <p>①神戸商工会議所会員企業との交流会 2018/10/4 参加教職員数：15 校 16 名</p> <p>②ひょうご就職サミット 2020 キャリアセンタータイム 2019/3/4 参加教職員数：13 校 15 名 【大学生対象】</p> <p>●合同企業説明会</p> <p>①「就職フェア in KOBE」 2018/10/4 参加学生数：26 校 148 名</p> <p>②「ひょうご就職サミット 2020」 2019/3/4 参加学生：52 校 221 名 2019/6/1 参加学生：34 校 232 名</p> <p>●大学生との意見交換会（企業（社長）から学ぶ研修会）</p> <p>①「経営者と話そう」2018/12/6 参加学生数：6 校 16 名 参加教職員数：1 校 1 名</p> <p>●企業（若手社員）から学ぶ研修会</p> <p>①「合同模擬グループディスカッション」2019/2/16 参加学生数：16 校 80 名</p> <p>②「面接大作戦」2019/2/16 参加学生数：16 校 80 名</p>	
②地域の活性化のための UJI ターン就職の促進	情報公開する企業数：100 社（2021 年度）	（取組 1）県内企業の情報発信の強化 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、大学プラットフォーム（大学コンソーシアムひょうご神戸）HP において公表し、兵庫県の UJI ターンの職業紹介等の HP との連携を図る。	情報公開する企業数：100 社（2021 年度）	兵庫県内企業情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸 HP 内に「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」を開設した（2019 年 9 月末現在掲載社数：30 社）。 また、各加盟校、兵庫県、及び	A

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

				県内自治体と連携し、ポータルサイトとリンクさせて発信力の強化を図る。2019年11月には各加盟校からOBOGが所属する県内企業を事務局に推薦し、2019年度中にHP掲載企業数100社達成を目指す。	
③大学進学者の県内残留と円滑な高大接続	合同説明会への参加生徒数：200名 (2021年度)	(取組1) 高大連携事業(ひょうご高校大学コンソーシアム)兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換会(進路指導協議会)や県内各地での合同説明会等の開催や県内大学の情報提供などを通じて県内大学進学率の向上を図る。	ひょうご高校大学意見交換会の年1回以上の開催 合同説明会の開催等を通じて県内大学等の情報提供の実施(令和元年度以降)	●「ひょうご高校大学コンソーシアム2021年度入学者選抜要項の見直しへの対応についての意見交換会」日時:2018/10/16 参加大学:21大学37名 参加高校:29高校30名 内容: 1意見交換会「2021年度入学者選抜要旨の見直しへの対応について」 2グループに分かれての意見交換 高大連携をめぐる課題についての意見交換とアンケートを実施、会合の内容は今後の生徒指導や入試改革へ向けて役立つものであったか」という設問に対して回答者の83%が「大いに役に立つ、役立つ」と回答した。 ●高大連携委員会 第1回委員会:2019/6/27	A
④高等教育機会の偏在への対応	開講科目数:10科目 (2021年度)	(取組1) 単位互換事業(共通講座の開講) 県内の大学に通う学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、以下の取組を行う。 (1)兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業の実施。 (2)多様な学修機会の提供(ICTを活用したコンテンツ、医療・看護系学生むけプログラム等)	ICTを活用したコンテンツ及び医療・看護系公開講座等の提供	(1)単位互換事業 2018年度開講:31科目11大学 履修者:13名4大学 2019年度開講:45科目14大学 履修者:16名6大学 (2)多様な学習機会の提供 [2019年度新規事業] ○ICTを活用したコンテンツ 2020年度に教育連携委員会委員校を対象とした「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」トライアル実施に向け、各校にID/PWを発行、システムやコンテンツの閲覧期間(7月~10月)を設定し、各校において活用の検討を行った。	A

				<p>○医療・看護系学生向けプログラム 7月からコンソ HP を広報媒体 としたセミナー等の募集開始。 ・9月時点実績 2 大学 3 プログラム</p>	
<p>2. 地域課題と向き合う交流を通じた社会人基礎力の養成事業</p>					
<p>⑤地域の防災等を担う人材の育成</p>	<p>「ひょうご災害・防災リーダー」認定学生数：50名 (2021年度までののべ数)</p>	<p>(取組1) 阪神・淡路大震災の経験を有する兵庫県で地域の防災等を担う人材養成プログラムを実施する。 プラットフォーム参画大学の学生と県内外の各団体が連携し、阪神・淡路大震災の経験、教訓を学ぶ場の提供や東日本大震災や岡山豪雨災害等での実際の支援活動に取り組み、被災地の復興支援の体験やそこから派生する防災への取り組みを学び、自主的且つ自発的に活動に取り組める学生を育成するとともに災害・防災リーダーを養成する。 ・阪神・淡路大震災について学ぶ場や県内でのボランティア研修により、実質的なボランティアを企画・実施。 ・宮城県名取市、岡山県倉敷市等でのボランティア活動の継続により、時間経過に伴うニーズの変化や復興の過程を学ぶ。 ・震災直後やその後の復興の過程を学ぶとともに、今後の防災・減災に向けて何ができるのかを考え、実践に移せる「ひょうご災害・防災リーダー」を養成。</p> <p>※「ひょうご災害・防災リーダー」 2年以上継続して活動に取り組み、リーダー研修の受講及び各グループ活動での実践的取組みを最後まで遂行した学生。</p>	<p>プログラム 参加学生数： 250名 (2021年度までののべ数) 2017年度：42名 2018年度：40名 2019年度：49名</p>	<p>ひょうご災害・災害リーダー 2017年度：10名 2018年度：9名 2019年度：6名 計25名 ■実施プログラム 2018年度から学生災害ボランティア・ネットワーク事業として活動を展開。2018年度の参加学生40名(うちリーダー9名)は5月から研修を開始し、宮城県名取市(8月)、熊本県益城町(9月)でのボランティア活動の実践に取組み、10月に振り返りの会を実施しプログラムを終了した。 2019年度は、学生スタッフによる加盟大学での活動体験報告を初めて実施し、学生応募数が90名を超えた。48名の学生を選抜し、学生53名(うち学生スタッフ6名)で活動を開始した。5月から6月にかけての各研修会では、ボランティア基礎論、阪神淡路大震災概要、被災地長田のまち歩き、魚崎町防災福祉コミュニティの取り組みについて学ぶなどフィールドワークを拡充した。また、学びの定着を図るため、研修後にワークショップを実施した。震災発生時から復興についての学びを踏まえ、6月には宮城、岡山でのヒアリング活動で、現地の状況・ニーズを調査し、本活動の企画立案を行い、名取市関上(8/25実施)、倉敷市真備(8/31実施)でのボランティア活動の実践に繋げた。9/14の振り返りの会で</p>	<p>S</p>

				<p>は、各チームによる活動報告、協働した宮城の学生の発表、参加学生による今後への決意表明等も行いプログラムは終了した。宮城・熊本の大学や共催者をはじめとした県内外の各種協力団体とのネットワークの強化により、前年度を上回る充実した活動プログラムを展開することができた。事業の詳細については今後、事業報告書にまとめる予定である。</p>	
<p>⑥地域で活躍できる人材の育成</p>	<p>リーダー(企画・運営を担える人材)の育成： 50名/年</p>	<p>(取組1)地域(子どもやその保護者等)との交流を図るイベントを企画・運営し、異世代交流の体験を通じた幅広いコミュニケーション力、前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)を、実践によって身につけさせ、地域で活躍できる人材を育成する。 参加学生には地域の子どもの状況やその背景についても学ぶ機会を提供することにより地域における子どもの現状(少子化等)と課題を踏まえた取り組みに繋げる。</p> <p>※「リーダー(企画・運営を担える人材)」 イベントの参加学生のうち、実行委員として当該イベントに関する企画、各種調整・交渉、運営等を担った学生。</p>	<p>参加団体数：15 団体程度/年 参加者(親子)数： 500名/年</p>	<p>参加19団体から各2から3名、参加団体代表者の中から6名の統括学生リーダー・サブリーダーを選出し、計61名が学生リーダーとして企画・運営を担い、以下のとおりのプログラムを実施して、学生225名、一般(親子)552名の参加があった。</p> <p>■実施プログラム 2018/12/2に「こべっこランド」で「キッズフェスティバル2018」を開催。9大学19団体が18ブース(3ブースが合同)を出展した。5月に参加団体を募集し、6月から5回の学生実行委員会を重ね、左記の能力を養成した。学生リーダー・サブリーダーを中心に、学生たちが主体的・積極的に学生交流・大学間交流を行った。実施後の参加団体のアンケートでは、対応力・実践力・コミュニケーション力で成長したとの回答が多く得られた。</p> <p>2019年度は、12/1に「キッズフェスティバル2019」を開催予定、5月に募集締切の結果、12大学22団体が19ブース(4ブースが合同)を出展計画中。5月から5回の学生実行委員会を重ねる予定であり、本年度も左記の能力を養成する計画である。統括学生リー</p>	<p>S</p>

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

				<p>ター・サプリーダーを筆頭に、学生交流・企画立案力・プレゼン力の養成等を育む。</p>	
⑦地域産業ニーズに対応した人材育成	<p>地域産業ニーズをまとめた資料をHPで閲覧、もしくは資料配布を受けた 学生数：10,000名 (2021年度までののべ数)</p>	<p>(取組1) 地域産業のニーズ調査 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業が求める人材において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表するとともに、大学、企業との情報共有の場を設ける。</p>	<p>産業界と大学キャリア担当者の情報交換会開催：10回(2021年度までののべ数)</p> <p>地域産業ニーズをまとめた資料作成(2019年度)</p>	<p>企業が求める人材像(採用選考での重視項目)や、大学等教育機関において習得すべき能力や知識等についてのアンケート調査を企業に実施し、兵庫県内企業36社より回答を得た。</p> <p>同時に、学生が考える自分に不足している能力に関して大学生74名にアンケート調査を実施し、企業回答との比較を分析し、HPでの情報公開と配布資料の作成を行った。</p>	A
⑧地域企業経営者による実践的講座の提供	<p>プログラム参加 学生数：300名 (2021年度までののべ数)</p>	<p>(取組1) 地域の企業経営者が講師を務める講座の開講 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。 経営者の理念や思いをお聞きし、実社会を学ぶ。ICTを活用した教育の推進も検討する。</p>	<p>地域の企業経営者によるセミナーの開催：10回 (2021年度までののべ数)</p>	<p>●実践的講座の開講</p> <p>2017年度 参加者数：62名 参加学生数：62名</p> <p>2018年度 参加者数：151名 参加学生数：131名</p> <p>2019年度 参加者数：62名 参加学生数：62名</p> <p>2018年度にはリアルタイムで双方向のコミュニケーションも可能なWEBミーティングシステムを活用することで、遠隔地に滞在中の講師とイベント会場をつなぎ、講座を受講できるネット環境を準備した。</p> <p>① 社長と話そう in KOBE 2018/2/17 参加学生：16校 62名</p> <p>② キャリアを考えるセミナー 2018/9/13 参加学生：12校 37名 参加教職員：2校 4名</p> <p>③ 兵庫県内ワクワク優良企業見学会 2018/9/14 参加学生：10校 33名 参加教職員：3校 3名</p> <p>④ 社長とのパネルトーク 2018/9/15 参加学生：10校 27名 参加教職員：2校 2名</p> <p>⑤ 経営者と話そう 2018/12/6 参加学生：6校 16名</p>	A

				参加教職員：1校1名 ⑥県内の隠れた名企業発見ツアー-AWAJI 2018/12/13 訪問企業：プライミクス(株) 淡路麵業(株) 参加学生：5校18名 参加教職員：5校10名 ⑥ LET'S GO TO TAJIMA! 2019/9/17 訪問企業：(株)由利、 (株)東豊精工 参加学生：5大学62名	
3. ひょうご神戸の国際性を活かしたグローバル教育支援事業					
⑨“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中に2回測定)	「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。 (取組1)留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。	参加留学生数： 10大学・35名以上(最大40名)/年 受入企業・団体数： 20企業・団体以上/年	当協議会加盟校の学生の国際理解を深めるため、以下のプログラムを実施した。 2018年度参加留学生：10校40名 国際理解が深まった割合：97.5% ■実施プログラム 「ひょうご留学生インターンシップ」参加留学生数：10校34名(推薦留学生：42名) 受入企業・団体数：22(受入枠数：27)	A
		(取組2) CCC Global Career Seminar in Japan Offered by Cross-Cultural College (平成23年度 文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採択プログラム) CCCが目指す世界市民リーダーを育成する。	参加者数： 2021年度までにのべ10名 (主催大学以外の学生数)	■実施プログラム CCC Global Career Seminar in Japan Offered by Cross-Cultural College 実施期間：2019/8/1~8/10 参加者数：42名(うち日本側学生23名、カナダ側学生19名) 参加企業：7企業・団体 カナダ大使館、日本IBM他 ●アンケート調査 全参加者(35名)に対して事前事後にアンケートを実施。94%の参加者が「異文化適応力が身についた」と回答した。	D
		(取組3)兵庫県学生英語プレゼンテーション・コンテスト 県下大学生全体の英語学習に対する一つの目標を設定でき、モチベーションの向上を図ることができる。	参加校： 5校以上/年 参加学生数： 15名以上/年	■実施プログラム ①学生グローバルベンチャーコンテスト2018in兵庫2018/11/26 参加者数：9校23名	A

		<p>(取組4)プラットフォームを活用した留学生就職促進事業 大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の促進の動機付けを図る。</p>	<p>参加留学生： 100名以上/年</p>	<p>審査員：3校4名 テーマ：i. TMT&テクノロジー ii. 健康&BIO iii. 環境&エネルギー iv. 伝統&文化（国際理解が深まった度合：89.7%）</p> <p>■実施プログラム 2018年度 参加者数：1,167名 参加留学生数：1,096名 2019年度 参加者数：1,038名 参加留学生数：946名 (2019年9月末現在)</p> <p>●「外国人留学生対象セミナー&企業説明会」2018/10/20 参加留学生数：6校44名 参加企業数：13社</p> <p>●合同企業説明会 国際都市 KOBE で働こう！外国人のための合同企業説明会 2019/6/22 参加留学生数：13校478名 (加盟校他多数専門学校含む) 参加企業数：41社</p> <p>●日本語能力試験N1集中講座 2019/6/8 参加留学生数：7校52名 参加教職員数：1校6名</p> <p>●ビジネス日本語講座 ①留学生対象ガイダンス 2019/6/6 参加留学生数：10大学20名 参加企業数：14名</p> <p>②「インターンシップ修了生との懇談会」2019/6/12 参加留学生数：11校42名</p> <p>③ビジネスマナー研修 2019/6/29 参加留学生数：10校34名 参加企業数：1社1名</p> <p>●就職活動Q&A講座 ①インターンシップガイダンス 2019/6/12参加留学生：11校39名 ②推薦学生と企業の交流会 2019/6/15参加留学生：10校35名</p>	<p>S</p>
--	--	---	-------------------------------------	--	----------

				<p>参加企業数：19社32名 ③留学生合同企業説明会 2019/7/6 参加留学生：8校151名 ●但馬方面バスツアー 2019/9/16-17 参加留学生：5校31名 参加行政・団体数：2団体2名 ●先端産業企業見学バスツアー 訪問先：キャタピラー・ジャパン 2019/9/19 参加留学生：10校27名 参加教職員：1校1名 参加行政・団体：1団体1名 ●グローバル人材育成セミナー キャタピラー1DAY インターン シップ 2019/9/19 参加留学生：10校27名 参加教職員：1校1名 参加行政・団体数：1団体1名 ●大学と企業との意見交換会 ①2018/10/13 参加留学生：10校39名 参加教職員：13校15名 参加企業：31社48名 参加行政・団体：8団体13名 ②2019/6/15 参加教職員：8校10名 参加企業：19社32名 参加行政・団体：1団体1名</p>	
		<p>(取組5) 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p>	<p>参加者数： 500名以上/年</p>	<p>■実施プログラム 2018年度 参加者数：606名 2019年度 参加者数：784名 (2019年9月現在) ●留学生・日本人学生交流プログラム：計229名 ①留学生・日本人学生交流会 (協働企画) 47名 ②アクティブ・ブック・ ダイアログ74名 ③学生チーム「Team G-Navi」企 画「朝活まわし読み新聞」12名 ・「しゃべらんでほんご」8名 ④研修「ファシリテーションを学 ぶ」88名</p>	<p>A</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ●防災教育：172名 ①BOUSAI KUNREN～神戸のまちで～：28名 ②やってみよう、避難所訓練—あなたが学べば、何かが変わる？—19名 ③多文化共生から始まる防災・減災と復興 災害とリーダーシップ：125名 ●キャリアカフェ：計304名 ①Nada Global Village (NGV) 計14回247名 ②英語でのキャリアイベント「Get ready for a successful job-hunting in Japan」57名 ●事例報告・情報交換回「多様化する住環境と留学生受け入れ—多文化共生の観点から—」26名 ●G-Naviフォーラム「兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業」の取り組み：53名 	
		<p>(取組6)</p> <p>日本は、衛生面・医療面で世界的に恵まれているが、国外において自らが体験することで医療に対する国際感覚を高める。習慣・文化・社会が日本と大きく異なる国への訪問を通して自国の状況を客観的に判断可能になり、海外から学ぶべきことまた、海外で貢献できる点を理解し、問題解決能力を養う。</p>	参加者数：2名以上/年（主催大学以外の学生数）	<ul style="list-style-type: none"> ■実施プログラム 2018年度 参加者：4名 2019年度 参加者：1名 	B
<p>4. 県下大学の教育・研究の質を高める多元的研修事業</p>					
⑩ “ひょうご神戸” の特性を活かした教育力の向上	各取組への参加教職員数：300名（2021年度までのべ数）	<p>プラットフォーム参画大学の教職員に多様な研修等の機会を提供するとともに加盟校教職員間のさらなる交流を促進する。</p> <p>(取組1)</p> <p>加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。</p>	加盟校に有益な公開セミナー開催数：1回以上/年	<p>当協議会加盟校教職員の資質向上のため、以下のプログラムを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2018年度セミナー情報の公開数：1件 参加大学数：4大学 参加者数：67名 ●2019年度セミナー情報の公開数：1件 参加大学数：7大学 参加者数：70名 	A
		<p>(取組2) 「大学運営」に関する科目の受講支援</p> <p>プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。</p>	「大学運営」科目の継続開講	2018年度後期講座において当協議会加盟校から6大学21名が受講した。	A